

## 平成28年第11回教育委員会会議議事録

### 1 開催日時

平成28年10月18日(火) 午後4時00分～午後4時42分

### 2 開催場所

教育委員会会議室

### 3 出席者

|      |          |       |
|------|----------|-------|
|      | 教育長      | 田村 修一 |
| 教育委員 | 教育長職務代理者 | 小尾 一彦 |
|      | 委員       | 瀧本 洋次 |
|      | 委員       | 早津 聡子 |
| 事務局  | 教育部長     | 山岸 伸雄 |
|      | 学校教育課長   | 高橋 修二 |
|      | 生涯学習課長   | 湯佐 茂雄 |
|      | 給食センター所長 | 妹尾 真  |
|      | 図書館長     | 林 隆則  |
|      | 総務係長     | 白坂 博司 |
|      | 学校教育係長   | 守屋 敦史 |
|      | 学校教育推進員  | 高橋 康伸 |
|      | 学校教育推進員  | 中村 吉昭 |

### 4 議 事

報告第11号 平成28年度幕別町一般会計補正予算の要求結果について

報告第12号 平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

議案第42号 第5期幕別町総合計画3カ年実施計画の提出について

議案第43号 幕別町教育支援委員会委員の委嘱について

議案第44号 要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定について

### 5 議事概要 次のおり

**田村教育長** ただ今から、第11回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1、会期の決定についてお諮りいたします。会期は、本日1日限りとすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

**田村教育長** 異議なしと認め、会期は本日1日限りと決しました。

次に日程第2、会議録署名委員の指名についてであります。本日の会議録署名委員に、1番瀧本委員、4番小尾委員を指名いたします。

次に日程第3、前回会議の承認であります。第10回教育委員会会議について別紙議

事録のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

**田村教育長** 異議なしと認め、第10回教育委員会会議を承認いたします。

次に日程第4、事務報告についてであります。事務局の方から何かございますか。

**教育部長(山岸 伸雄)** 本日の教育委員会会議でございますが、國安委員より欠席する旨ご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

**田村教育長** 以上で事務報告を終わります。

次に議件に入ります。

日程第5、報告第11号平成28年度幕別町一般会計補正予算の要求結果について説明を求めます。

**教育部長(山岸 伸雄)** 議案書の1ページをお開きください。平成28年度幕別町一般会計補正予算の要求結果についてご説明いたします。本補正予算は、平成28年8月30日に開会いたしました第3回幕別町議会定例会にて提案し、会期の最終日の平成28年9月20日に議決をいただいたところでございます。

補正予算の内容についてご説明申し上げます。14款災害復旧費、3項その他施設災害復旧費、1目単独災害復旧費であります。災害に関する復旧事業費として、14款での補正予算となっております。なお、補正予算の規定額、補正額につきましては、教育委員会分についてのみを記載しております。予算につきましては、規定額200万円に補正予算の要望額1千498万5千円でございますが、要望額に対して、全て議決をいただいたところであります。

内容につきましては、前回教育委員会会議でご説明申し上げましたが、平成28年8月30日から8月31日にかけて北海道に接近した台風第10号について、その災害に係る復旧事業費であり、雨漏り及び倒木処理等が主なものでございます。

以上、補正予算について報告とさせていただきます。

**田村教育長** 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

**田村教育長** 質疑なしと認めます。報告第11号については、報告のとおりといたします。

次に日程第6、報告第12号平成28年度全国学力・学習状況調査結果について説明を求めます。

**教育部長(山岸 伸雄)** 本調査につきましては、平成につきましては、平成19年度から実施されており、今年度は平成28年4月21日に国語、算数及び数学の2科目について調査が実施されました。調査の対象学年につきましては、小学校は6年生、中学校は3年生となっており、この度、文部科学省が調査結果を平成28年9月29日に公表いたしましたことから、その内容を報告するものでございます。

別添の説明資料をご覧くださいと思います。この調査では、国語、算数及び数学がA調査とB調査に分かれており、A調査は基礎・知識を問うもので、B調査は応用・活用を問うものとなっております。調査結果の内容についてでございますが、北海道の平均正答率は昨年度同様に、小中学校の全ての教科について全国平均よりも低いという状況であり、小学校の算数B、小学校の国語A及びBについては、全国との差が昨年度よりも広がっているというところでございます。その他の教科については、全国平均との差が縮まっているという状況となっております。幕別町の平均正答率については、小学校は昨年度、算数A及びBが全国平均を下回ったものの、それ以外は全国及び全道平均を上回るという結果となりましたが、国語A、算数A及びBが全道平均を上回ったものの、全ての科目で全国平均を下回るという結果になりました。中学校については、昨年度、全ての科目で全国及び全道平均を3ポイント以上上回るという結果になりましたが、今年度においては、国語A、数学Aが全国及び全道平均を上回ったものの、国語B、算数Bは全国及び全道平均を下回る結果となりました。

本調査における結果公表については、平成28年6月21日に開催されました教育委員会会議において、個々の学校名は明らかにせず、さらに町全体の結果についても従来同様に平均正答率の数値を用いず、文章により成績や傾向の説明を行うことを決定しておりますことを踏まえ、今後、町広報誌で調査結果を掲載する予定でありますことをご了承いただきたいと思います。なお、今回お示ししました各学校のデータにつきましては、市町村別の数値、学校別の数値は教育委員会会議及び校長会議等の内部資料としての取り扱いと特段のご猶予いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上、報告とさせていただきます。

**田村教育長** 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

**田村教育長** 質疑なしと認めます。報告第12号については、報告のとおりといたします。

次に日程第7、議案第42号第5期幕別町総合計画3カ年実施計画の提出について説明を求めます。

**教育部長(山岸 伸雄)** 議案第42号第5期幕別町総合計画3カ年実施計画の提出についてご説明申し上げます。

例年、この時期に各部、課において総合計画の施策を具体的に推進するため、今後3年間の事業について実施計画を策定し、町企画総務部に対し事業内容を説明し、予算要求をしているところでございます。企画総務部では町総合政策との整合性や町長公約、今後の財政状況、また、これまでの議会答弁や公区からの要望など多方面から査定するものであり、今回は平成29年度から平成31年度までの3カ年の事業について教育委員会として要求するものでございます。教育委員会分は3年間で25事業となっており、昨年度は21事業となっておりました。今回、初めて要求する事業は4事業であり、新規事業として3番札内南小学校増築事業、10番義務教育支援事業、11番郷土文化資料館(仮称)建設事業、14番札内町民プール建設事業でございます。

要求事業について、主に新規事業を中心にご説明させていただきます。

学校教育課分でございますが、2番学校屋内運動場落下物防止対策事業についてでございますが、平成27年度から事業を実施し、これまで小規模校を除き、本年度で対策を終了すべく講じてまいりましたが、平成29年度において小規模校の糠内小学校、古舞小学校、明倫小学校、途別小学校、糠内中学校の5校について同様の事業を行い、落下物防止対策について町内小中学校全て対策を講じようとするものでございます。

次に、3番札内南小学校増築事業についてでございます。札内南小学校につきましては、平成24年に児童数の増加に伴い、特別支援教育棟を増築し、普通教室を確保してまいりましたが、その後も児童数の増加に伴い、フリースペースの一部を普通教室に改造し、教室を確保してまいりました。札内南小学校の児童数は、平成28年度児童数が630人、そのうち普通学級在籍が578人の18学級、特別支援学級在籍が52人の12学級となっております。しかし、今後とも児童数の増加が見込まれ、平成30年度にピークの児童数667人となることが予想され、普通学級在籍が603人となり、現在の児童数から25人増加し、現在より1学級増加し、19学級となることを見込まれております。しかし、現在、普通学級19学級が運用できる教室としておりますが、19学級のうち1学級を特別支援教室として2学級分を活用しているところでございます。また、特別支援教育については、平成28年度の教育支援委員会の在籍判定状況等から今後も児童数の増加が続き、平成30年度には64人となり、現在の児童数から12人増加し、さらに平成32年度には72人となり、児童数から20人増加する見込みとなっております。このことから、普通学級増加分の特別支援学級2学級分を普通学級1学級分として活用し、特別支援学級2学級減分と特別支援学級増加分を見込み、3学級分を増築しようとするものでございます。

次に、4番小中学校屋内運動場改修事業でございますが、これまで計画的に各学校の屋内運動場の改修を行っておりますが、平成29年度については、幕別小学校の屋内運動場の屋根の改修を行おうとするものでございますが、雨漏り箇所が増大しておりますことから、全面的に屋根の張り替えを行おうとするものでございます。また、平成30年度につきましては、札内中学校の屋内運動場の床を改修しようとするものでございますが、経年劣化により床の傷みや釘の突出等が発生しておりますことから、床の前面張り替えを行うものでございます。

次に、10番義務教育支援事業でございますが、義務教育段階における保護者負担の軽減を図り、子育て環境の整備を行うことを目的に事業を行おうとするものでございますが、本事業につきましては、飯田町長の基本5政策の1つであります「未来を担う人材を育成する町づくり」の保護者負担軽減政策の具現化に伴う予算でございます。内容といたしましては、小学校6年生、中学校3年生のときに行われる修学旅行について、小学校で事業費ベースで3万円、中学校で7万円を上限に、その上限額の原則2分の1を補助しようとするものでございます。

次に、生涯学習課分でございますが、11番郷土資料館（仮称）建設事業でございますが、老朽化しております幕別町ふるさと館と蝦夷文化考古館について、仮称ではありますが郷土文化資料館として統合整備も視野に入れ、検討をしようとするものであり、その所要額について要求するものでございます。本事業を行う際、今後の郷土資料の研究及び保存、展示方法等に専門的な知識が必要であることを鑑みまして、総務省が実施しております地域おこし協力隊で博物館等学芸員を公募し、その専門知識を活用し、事業を行おうとするものでございます。平成29年度につきましては、公募を行うための所要の経費について計上するとともに、平成30年度から平成32年度の3カ年をかけて両館のあり方及び整備方針等について検討し、将来の施設整備に繋げていくため、事業を行おうとするものでございます。

次に、13番百年記念ホール改修事業でございますが、平成25年度に計画を樹立しました整備改修計画に伴う改修でございますが、平成29年度については、大ホールの舞台照明及び吊物等に係る改修工事を実施しようとするものでございます。

次に、14番札内町民プール建設事業でございますが、昨年度まで要求していたものにつきましては、札内東町民プール建設事業として3カ年実施計画に掲載し、平成29年度から事業を実施すべく認められておりましたが、事務局において事業実施について札内地区のプールのあり方について、検討してきたところでございます。現在、札内地区には、町民プールとして札内南、札内東、札内北の3か所に設置し、学校授業用プールとしても活用しているところでございますが、今後とも札内地区プール3館をそれぞれ単独で整備していくのか、それとも、札内東町民プールが建設後49年を経過していることから、札内地区プール3館を統合し、利用できる期間を通年化し、温水プール化するかを検討してきたところでございます。事務局としましては、将来の人口減少及び児童生徒数の減少、さらに、今後の公共施設の適正な配置等総合的に考え、札内地区に統合プールを設置することが望ましいものと考え、予算の要求を行ったものでございます。しかし、プールの統合につきましては、利用者にご不便をおかけすることになりますことから、今後、札内市街地区の学校PTA及び学校とプールの統合又は単独整備について整備方針を含め、意見を伺ってまいりたいと思います。また、札内市街地区住民を対象とした説明会を開催し、札内地区のプールのあり方についてその方針を決定し、着手してまいりたいと考えております。

次に、16番農業者トレーニングセンター改修事業でございますが、昭和58年に開設し、本年度で33年が経過し、施設の躯体等の老朽化が進んでおりますことから、本年度、幕別町農業者トレーニングセンター改修工事調査を行い、平成29年度以降、計画的に改修を行っていくとしたところでございます。平成29年度は改修を行うための実施設計を実施し、今後、計画的に事業を実施し、施設の長寿命化を図ってまいりたいと考えております。

次に、19番図書館整備事業でございますが、図書館の読書環境及び来館者のサービス向上を図るため、平成29年度には本館の冷房施設整備、トイレの洋式化等を行おうとするものでございます。

次に、23番及び25番でございますが、給食センター備品等更新事業でございますが、幕別及び忠類の給食センターの備品の老朽化等に伴う更新を行おうとするものでございます。

以上であります。年度別計のとおり総事業費は、平成29年度は4億4千259万4千円であり、平成30年度は16億4千256万8千円、平成31年度は1億7千406万7千円を要望するものでございますが、特に平成30年度は、札内プールの統合改築を予定していることから、予算要求が大きくなっておりますが、教育施設及び社会体育施設等の老朽化に伴い、事業費が増大していく傾向にございます。今後、11月上旬頃に内示となりますので、その結果につきましては、内示後の直近の教育委員会会議で報告させていただきます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

**田村教育長** 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

**瀧本委員** 12番埋蔵文化財発掘調査事業について、調査費3千150万円を計上しておりますが、どのような内容となっているのでしょうか。

**生涯学習課長（湯佐 茂雄）** 埋蔵文化財発掘調査につきましては、踏査調査と試掘調査が終わりまして、最終的にこの調査を実施するというところでございまして、現在、本町には130か所の周地の包蔵地があり、そのうち1か所の途別七遺跡の調査となります。面積につきましては、2千100㎡となっております。発掘、出土品の整備及び報告書の刊行ということで計画をしているところでございます。この場所は現在、畑になっておりますが、当初、砂利を採取するという申請で発掘をするということでしたが、その後、砂利採取ではなく、農地の区画変更で、高いところを削るというような手法で発掘調査が必要となるということで実施するものでございます。

**瀧本委員** 仮に出土品から価値のある物が出てきた場合も、その保管等も含めてということでしょうか。

**生涯学習課長（湯佐 茂雄）** この包蔵地につきましては、掘ってみなければ分からないということなのですが、試掘の段階では出ておりますので、最終的には発掘しなければならないということです。時代的には縄文時代ということで聞いております。出てきたものにつきましては、警察の方に届出をして、整理が終わった後、基本的にはふるさと館等に保管するということになります。今までの文化財も全てふるさと館で保管しております。

財源の内訳につきましては、国庫補助が2分の1の1千575万円、地域づくり総合交付金が780万、一般財源が795万ということになります。

**田村教育長** そのほかに質疑はございませんか。

**小尾委員** 9番教職員用パソコン更新についてですが、一般的に何年で更新されるのか、また、更新後、パソコンはどのように処理されるのか、そして、教職員が異動した際にはどのように受け継がれているのでしょうか。

**学校教育係長（守屋 敦史）** 教職員用のパソコンにつきましては、前回は平成21年度に導入をしており、7年経過ということで、今回予算がついた際には、8年目に更新をするということになっております。児童生徒用のパソコンについても8年を想定して更新しております。古いパソコンの処理については、年数が経過しており、OSのサポートが終了となりますので、更新の時点で使えないと判断して、パソコン業者に処理料を支払い、処分をしていただくということになります。人事異動後の対応につきましては、パソコンを初期化し、同じパソコンを使用いただいております。また、教員の増減があった場合は、不足分については購入しておりますが、基本的には、町内の学校全体でパソコンを移動しながら再利用しております。

**小尾委員** データが漏れてしまう恐れはないのでしょうか。また、処分の仕方はどのように行う

のでしょうか。

**学校教育係長（守屋 敦史）** 業者の方では、まず初期化を行い、工場で破砕して処分するというところで聞いておりますので、データが漏れることはないと認識しております。

**田村教育長** そのほかに質疑はございませんか。

**瀧本委員** 13番百年記念ホール改修事業について、予約システム改修、改修工事監理委託の内容についてご説明いただけますでしょうか。

**生涯学習課長（湯佐 茂雄）** 予約システムについて、現在、利用しているシステムが開設時の平成8年から使用しているもので、OS等が変更となり、入れ替え等を実施してきましたが、明細や領収書が印刷されないなど普段の業務に支障をきたしているということを以前から聞いており、新しくシステムを作るのか、今後協議をしていくところです。今週、業者の方にお会いして、システムの内容等を確認させていただき予定となっております。現在、3カ年計画上で平成29年度に計上しておりますが、急を要することから、今年度の予算の中で対応できないか財政担当に相談をしているところで、今年度の12月の補正により、実施するという可能性がございます。また、改修工事監理委託については、改修工事を実施している際の工事の行い方等の監理となっております。

**瀧本委員** 15番野球場整備事業について、運動公園ソフトボール場整備工事はソフトボールに限っての運動場なのでしょうか。野球場等に活用しているものなのでしょうか。

**生涯学習課長（湯佐 茂雄）** ソフトボール場は、当初、野球場ができる前は野球場となっていたのですが、野球場ができたことにより、ソフトボール場としたところでございます。あくまでもソフトボール場として使用していただいておりますが、少年団等の小さい子どもなどについては、野球場としても使用しております。

**田村教育長** そのほかに質疑はございませんか。

（ありません。）

**田村教育長** 質疑なしと認めます。お諮りいたします。

議案第42号につきまして原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（異議なし）

**田村教育長** 異議なしと認め、議案第42号につきましては原案どおり可決いたしました。

次に日程第8、議案第43号幕別町教育支援委員会委員の委嘱について説明を求めます。

**教育部長（山岸 伸雄）** 議案第43号幕別町教育支援委員会委員の委嘱についてご説明申し上げます。幕別町教育支援委員会委員につきましては、教育支援委員会における障害がある又は特別な配慮が必要な就学予定者、児童及び生徒に対して適切就学の支援等を行うため、教育支援委員会設置条例第3条の規定により、教育職員、医師、児童福祉施設の職員、関係行政機関の職員、学士経験者のうちから25人以内で教育委員会が委嘱することとなっております。今回、委嘱する委員は、人事異動に伴う4人の教育職員の変更と現在、新たに医師2人を委嘱するものでございます。異動により変更となる委員につきましては、幕別小学校長の帰山孝美氏、途別小学校教諭の印巻明美氏、札内南小学校教諭の入江広氏、忠類小学校教諭の高橋百合子氏の4人、新たに委嘱する委員につきましては、道立緑ヶ丘病院医師の正木信也氏、道立緑ヶ丘病院医師の東畑 氏の2人で合計6人となっております。これにより、教育支援委員会委員につきましては、従来の委員と合わせまして、23人となる見込みでございます。任期につきましては、平成28年11月1日から平成29年10月31日までの1年間であります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほどよろしくお願いいたします。

**田村教育長** 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

（ありません。）

**田村教育長** 質疑なしと認めます。お諮りいたします。

議案第43号につきまして原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（異議なし）

**田村教育長** 異議なしと認め、議案第43号につきましては原案どおり可決いたしました。

次に日程第9、議案第44号要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定についてはプライバシー保護のため秘密会といたします。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

**田村教育長** 異議なしと認め、秘密会といたします。

**田村教育長** 秘密会を解きます。

そのほかに何かございませんか。

(ありません。)

**田村教育長** ないようですので、以上をもちまして、本日の日程が全て終了いたしましたので、第11回教育委員会会議を閉じます。